

景域 20 関大前駅界隈



景域 20
配慮すべき近隣の景域



公的緑地	池	歴史的地区	特徴的建造物等	景観形成地区
民間緑地	河川	旧街道	主な公共施設	景観賞
公園	橋	神社・寺院	眺望点	過去受賞作品
その他 (オープンスペース等)		文化財		
風致地区		歴史的資源		
		学術文化施設		

● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

緑豊かな大学と落ち着きのある住宅地の中にある商店街

地形

丘陵の南端に位置しています。

歴史

関西大学は大正 11 年（1922 年）に本市に移転され、キャンパスには、秀麗橋をはじめ、暖かみのある素材が用いられた洗練されたデザインの建物が並んでいます。

土地利用

広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ大学の景観は、地域のシンボルになっています。関大前駅から大学正門までの通りは、飲食店等が立ち並びにぎわいのある商業空間を形成している一方、通りの横には静かな戸建住宅地が広がっています。

都市活動・暮らし

学生街には狭い道路に店舗が軒を連ね、色とりどりの多数の屋外広告物が掲出され、行き来する学生の姿により活気があります。キャンパス内の広々としたオープンスペースには、クスノキなどの大木が育っており、地域の人々の憩いの場にもなっています。すぐそばの住宅地では落ち着きのある暮らしが営まれています。



関西大学秀麗橋



キャンパス周辺のにぎわいある景観

大学の豊かな緑と落ち着きのある住宅地をまもり、にぎわいの中にも調和のある商業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 大学内の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 大学内のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてにぎわいの中にも調和のある商業景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁の緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 大学などやその周辺における、活気の中にも落ち着きのあるまちなみの形成を図る。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 16, 18, 21, 26, 27